

250億円を探る決算審査特別委員会

みなさまに伺いました。

滝沢らしさをもとめて



大釜上
徳田 信子さん

村から市へと新しいことへの挑戦が始まるうとしている。温故知新という言葉が好きです。滝沢には、無形文化財のチャグチャグ馬つこ、芸術文化では神楽・田植え踊り、さんさなど、いろいろあります。方言も大事です。時代が変わっても村の文化その土地・その地域にしかできないことがたくさんあります。市になっても厳しい現実になるかもしれませんが、受け継いだものを次の時代へより大切にしていって、満たされる滝沢であってほしいです。

顔の見える関係に！



大釜上
斉藤 路子さん

食育基本法が制定されてから7年過ぎ、「食育」という言葉が耳に慣れてきたように感じます。日頃感じているのは、「作物の成長過程や収穫作業を体験させてもらえ、採れたてのものが購入できる」など農家の情報を発信していたとき、生産者と消費者（特にも幼児期のいる親）と顔の見える関係となり、そこから生きる力の育成へとつながっていったらと願っています。

若者に働く場を！



柳沢
青木 瞳さん

最近のニュースでは、若い人達の就職難と書かれていますが、これからの築いていく若者が働く場が少ないように思います。村内にも雇用促進に繋がるような企業を誘致して、若者が地域活動の場に積極的に参加し盛り上げていければいいと思います。また、震災以後、地域や家族との絆が見直されています。これからは、昔のように近所付き合いや助け合いをして、コミュニケーションを取っていくことが大事だと思います。

環境を考え、健康を実感できる食育を推進します

主な事業

(千円以下切り捨て)

- 環境と調和した食料生産
 - いわて希望農業担い手応援補助事業 647万円
 - ・各種農業機械・施設等の整備を行い、農業者の経営安定化・規模拡大・系統出荷強化に伴う農業生産安定化を目指すことを目的として実施しました。本事業によりパイプハウスや農産物加工用施設を導入したことにより、産直施設への出荷強化が図られました。
 - 担い手育成経営基盤強化支援事業 343万円
 - ・経営感覚に優れた効率のかつ安定的な農業経営者を育成し、農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立することを目的として、相談対応等を行いました。
 - 環境保全対策事業 593万円
 - ・村内の河川水質調査、主要一般道・高速道路・新幹線の騒音調査を毎年継続することにより、汚染・騒音状況を把握することができました。
- 健全な食生活の推進
 - 食育推進事業 425万円
 - ・すべての住民が食に関心を持ち、協働することによって食育を推進し、生涯を通じて心身ともに健康でいきいき暮らしていくことをめざすため、食育推進委員会及び食に関する取組みを実施しました。また、第2次滝沢村食育推進計画を5月に策定しました。
- 食の安全に向けた住民理解
 - 学校給食事業 3億6828万円
 - ・栄養バランスの取れた給食の提供と食への関心や食への意欲を持たせること等を目的とした児童・生徒が考えた「希望献立」及び健康な生活を送る基礎を培うための正しい食習慣の理解を目的とした「食の指導」の実施により、児童・生徒の心身の健全な発達と食生活の改善、食育の推進が図られました。
- 楽しい食卓と食文化の伝承
 - 総合的な学習の時間推進事業 52万円
 - ・地域の人材を活用することにより「総合的な学習の時間」において「生きる力」の育成に必要な問題解決的な学習が円滑に実施されました。また、米作り、そば栽培、さんさ踊り学習会などの豊かな体験活動が行われました。

円の増となっており、また、投資的経費は放課後児童健全育成施設整備事業や中学校武道場建設事業、一本木地区簡易水道事業など財政投資が図られ、村民にとつて大きな成果があったと思います。

歳入においては、自主財源である村税は、大変厳しい社会経済状況下にあつて、取納率が91.4%と前年度と比較して0.7ポイント上回った事は、より強力な財政努力がなされたものと高く評価します。

また学校給食費についても83.4%と前年度に比較して1.2ポイント上回り、一般会計全体においても取納率は96.5%で前年度の95.1%を1.4ポイント上回りました。

23年度の経常一般財源比率は93.2%で、前年度と比較して1.7ポイント上がり、実質公債比率は9%で前年度と比較して1.1ポイント下回りました。

今後の山積する課題を考慮すれば、限られた財源をより重点的かつ効果的に財政運営努力が図られた結果と評価し、認定に賛成します。